

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

税金と命。そして、使い方。

長岡市立北中学校

三年 高橋 凜々愛

私の母は10年以上血液透析を受けている。腎臓が上手く機能しなくなるとさまざまな病気を発症し、最悪亡くなってしまう。血液透析とは、上手く機能しなくなった腎臓の代わりに食事をしたり水分を飲んだりすることで体内に蓄積した余分な水分や塩分、老廃物を取り除き、血液を浄化するという腎機能が低下してしまった人にとっては命を繋ぐために欠かせない治療だ。透析ができない状態が続くとわずか2週間ほどで亡くなってしまおうそう。しかし、昔は血液透析というのは480万円ほどの多額の費用がかかるため、お金が無く透析の治療を受けられなかった人は「亡くなるのを待つ」という選択しかできなかったと母から聞いた。今は透析治療に保険が適用され、年間数万円ほどで透析を受けられるようになった。母の命は顔も名前も知らない沢山の人からの税金により支えられ、血液透析を受けることができているおかげで命が繋がれているのだ。だから税金が無ければ、母は生きることが難しかったかもしれないし、私ももしかしたら今こころにはいなかったかもしれない。そんな私も税金により支えられた。私は生まれつき低身長だ。しかし、身長を伸ばすための注射である成長ホルモン注射を毎日打って身長が伸び、今

はもうすぐ145センチになる。何気なく毎日打っていたあの成長ホルモン注射も税金が無ければ年間約100万円という膨大なお金がかかるそう。母や自分のこと、私は身をもって税金の大切さを感じた。

だからこそ、私は一人一人が税金を身近に感じ、大切に使うべきだと思う。税について調べている中で、今は国の税金の使い方に対し「税金の無駄使いだ。」などと言う人がいるが、実際に無駄使いをしているのは私達だと知った。例えば、蚊に刺されてかゆい、海水浴に行き日焼けをした足がヒリヒリする、紙で指先を切ってしまった、薬がなくなった、などの軽傷や自分で解決できる小さな問題で救急車を呼ぶことだ。このような救急車の無駄利用は救急車の出動にかかっている税金を無駄使いすることになる。また、選挙のポスターなどの選挙にかかる費用には税金が使われていて、選挙に行かないことも税金の無駄使いに繋がる。このように税金は身近に使われ、それを知らぬ間に無駄にしている可能性がある。私はこのことを知り、このような税金の無駄使いをなくし税金による支えが本当に必要な人に税金を届けるため、一人一人が身近に税金を感じ大切に使わなければならないと思った。

私の将来の夢は薬剤師だ。今は税金によりたくさん支えられているが、薬剤師になり大切な税金を使って命を繋いだり、沢山の人に幸せを届けたい。また、税金を何気なく払うのではなく、大切なものということを理解して払ったり、税金の無駄使いに繋がる行動をしないように心がけられる人になりたい。